

2009（平成 21）年度 東京大学 入試問題 第 4 問（文系） 解答例

- 一 入口から奥座敷へと順次高くなる叔母の家の造りから、戦前の農家の生活や人間関係の有様の一部が想像されるということ。
- 二 叔母は、家中の闇に祖霊が多く留まると信じ、怖さとは逆に、人間的な時間を代々受け継いで、守られていると感じるということ。
- 三 筆者の父親は、村を出て安らかな人間的時間を失い、都会で時間に追われる生活を送り、祖先と断絶した生を終えたということ。
- 四 都会育ちの筆者も長く忘れていた農村の安らかな生の時間は、戦後六十年以上経ち、語り継ぐ者ももはやないと思われるから。